

部活や研究に情熱を注ぎ、有意義な学生生活を送っている様子を取材しました。



5月2日、3日に大阪・関西万博会場で行われた阿波おどりイベント「世界が踊る日～多様性が織りなす踊りの輪 徳島の阿波おどり～」での演舞の様子。
(徳島大学理工学部 小山撮影)

西窪さんは高校生、高専生を対象とした事業「そらLab@Tokushima」にも参加。生徒が自らのアイデアをもとにスペースバルーンを成層圏へ打ち上げ、実験を行うプロジェクトで、メンターとしてアドバイスを行うほか、記録撮影やプロダクトデザインなどのサポートを担っています。

雷連は連員募集中!



X



Instagram

常三島キャンパス

コーヒーという日常と、 宇宙という非日常を組み合わせ 新しい何かを見つけたい

総合科学部 総合科学科 3年 西窪 桜子 (にしづば さくらこ)

お菓子作りや甘いものが好きで、コーヒーと一緒に味わう時間を大切にしている西窪さん。コーヒーという日常的なものが気分転換に役立ったり、イベントに活用されたり、コーヒーを通して広がる世界に興味を持っています。

カフェでアルバイトをしながら豆の知識や接客スキルも学んでいて、コーヒースタンドの出店も構想中。徳島駅前の人通りが少なくなった商店街「ポップ街」をコーヒーで盛り上げるという夢を描いています。

卒論もコーヒーがテーマ。佐原先生の

研究室に所属し、気球を成層圏へ打ち上げ、実験を行う「スペースバルーンプロジェクト」で、打ち上げによるコーヒー豆の変化や可能性を探究したいと考えています。

また、阿波おどりサークル「雷連」で連長を務め、課外活動も積極的に行っています。5月には大阪・関西万博で行われた阿波おどりイベントに学生合同連として出演し、大舞台でも活躍しました。

“好き”を起点に、活動の場を広げる西窪さん。ひとつひとつの挑戦が、夢の実現へつながっています。



第56回全日本歯科学生総合体育大会に出場した時の写真。「とくしまマラソン2025」は他の部員も一緒に出たそう! 森本さんは歯の矯正に興味があり、3年の前期の研究室体験でまとめたデータをもとに、7月に行われる矯正の専門医たちが集まる学会へも参加予定。



蔵本キャンパス

オールデンタルで15年ぶりの総合優勝 団体戦1位獲得を目指し、 体力作りにマラソンも

歯学部 歯学科 4年 森本 瑞美 (もりもと たまみ)

森本さんが所属する歯学部軟式テニス部は、昨年の第56回全日本歯科学生総合体育大会(オールデンタル)ソフトテニス部門で、15年ぶりとなる総合優勝を果たしました。「6年生の先輩たちに優勝というカタチで恩返しがしたい」という想いのもと、練習時間を増やし、部員一丸となって取り組んだ成果です。

今年からはキャプテンを務め、昨年果たせなかった団体戦1位獲得を目指し、新たな挑戦を始めています。体力づくりと気分転換を兼ねてマラソンを始め、「とくしまマラソン2025」も見事完走しました。

学業面では臨床実習も本格化。歯を削る練習などもあり、「実際にやってみて初

めて気づくことが多い」と話します。勉強との両立に苦戦することもありますが、「大変さを共有できる同じ学部、部活の仲間に励まされている」といいます。

朝7時からの自主練習、授業、時にはアルバイトというルーティンを崩さず、「勉強も部活も全力で取り組みたい」という森本さん。今年の活躍も楽しみです。

歯学部軟式テニス部



X



Instagram